

米国子会社プロテクティブ社の CEO 交代について

株式会社第一ライフグループ（代表取締役社長グループ CEO：菊田 徹也、以下「当社」）は、当社米国子会社であるProtective Life Corporation（以下、「プロテクティブ」）において、2026年5月14日付で、Richard J. Bielenが2026年末を以て退任し、2027年1月1日付でPaul WellsがCEOに就任することとなりましたのでお知らせします。

Bielenは35年もの間プロテクティブと共に歩み、2017年のCEO就任以降リーダーシップを発揮し、6件の買収を完了させ、同社の収入を45億ドル（2016年）から80億ドル（2025年）に成長させました。また、2025年には米国生命保険協会の会長も務め、プロテクティブ及び業界に多大な足跡を残しました。

今回の交代は、プロテクティブが、当社と共に従前より検討を進めてきたサクセッションプラン（後継者育成計画）に沿うものです。

Wellsは、2004年にプロテクティブ社に入社以来、長年に亘り同社の事業拡大に貢献してきました。2017年から CAO（会計担当責任者）、2022年から CFO（財務担当責任者）を歴任し、事業戦略や財務会計に豊富な知識と経験を有しているほか、2026年からは社長兼 CFO を務めており、マネジメントの幅を広げてリーダーシップを一層発揮しています。

当社グループは、今回のCEOの交代後も引き続き、プロテクティブが更なる成長を遂げ、米国生命保険市場におけるプレゼンスを確固たるものとし、当社グループの海外事業に一層貢献するものと期待しています。

以上